月刊 かわごえ環境ネット

2015年10月号 No.108 http://kawagoekankyo.net

2015 年 10 月 8 日発行　編集・発行：かわごえ環境ネット

コラム　川越の自然を訪ねて（36）チョウの紹介（その４）シロチョウ科のチョウ.....2
報告　かわごえ環境ネットの活動（2 題）..... 3-4
会員・流域の活動（4 題）..... 5-8
理事会・専門委員会（5 題）..... 8-10
予告　かわごえ環境ネットの主催・出展・関連行事..... 11-13
会員・関係団体の主催・関連行事..... 13-16
広報委員会からのおしらせ..... 16-17
イベントカレンダー（10 月 7 日～11 月 21 日）.....18

## 【巻頭言】ゆっくりゆっくりつながって

7/12（日）川越 Farmer's Market

ウェスタ川越の講座募集チラシ

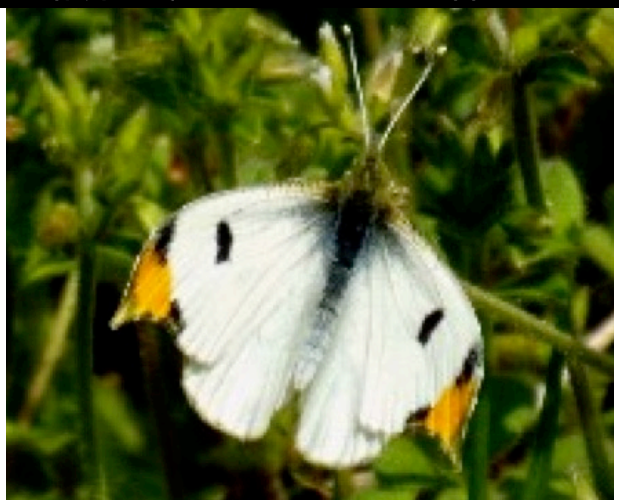
4 月の巻頭言で「私の来年度は外部の方達と連携した農業関係（ファーマーズマーケット等）や、観光プラス環境講座などができたらなと思っています。」と書かせていただいたのが、何と実現しています。ウェスタ川越の「Little tourism（おやこで暮らす町をあるく）」と「Little eco life（自分らしい衣食住のかたち）」講座と福原公民館講座「気軽に環境ボランティア～川越 Farmer's Market に学ぶ～」の 2 つ。この 2 つの講座は、川越ウェスタが「NPO 法人武蔵観研」から依頼されての協力企画と、地区の民生委員がらみでの企画です。

今年の「第 13 回かわごえ環境フォーラム」が理事長の「Facebook」つながりで約 30 名の参加があったのは記憶に新しいところです。私自身も 3 月の「認知症予防プログラム」で作成した（作成させられた？）Facebook を活用してみると、「川越を何とかしよう」と思っている方達の動きを垣間見ることができ、かわごえ環境ネット会員でなくても環境を意識していることがわりました。

「環境」というとオタク的な捉え方をされているようですが、今まで興味のなかった方たちに伝えて、少しでも活動に参加してもらうためには、常に外向けに発信しなくてはなりません。参加者はどんな方なのか、どのような動きにつながっていくのか、定かではありませんが、かわごえ環境ネット内だけではない「つながり」が生まれることを期待しています。川越在住主婦としては、「食のあり方」「生活のあり方」「豊かな老後」等気になること盛りだくさんです。（かわごえ環境ネット副理事長　横山三枝子）

# 【コラム】川越の自然を訪ねて（36）チョウの紹介（その 4）シロチョウ科のチョウ

ウスキシロチョウ（キチョウ亜科）



ツマキチョウ（シロチョウ亜科）

チョウの区分は 5 つのグループに分けられていますが、今回はシロチョウ科のチョウについて紹介します。

**シロチョウ科のチョウ**

前ばねの長さが 20～30mm の中型のチョウが多く、ほとんどが白や黄色の地色のチョウで黒や赤色の模様が現れます。アゲハチョウ科のチョウのように前あしは、中あし、後あしとほぼ同じ形、長さですが前あしの中ほどにとげはありません。

**おもなチョウのグループ**

4 つの亜科に分けられ、日本にはコバネシロチョウ亜科とモンキチョウ亜科、シロチョウ亜科の 3 つのグループが知られています。

**（1）コバネシロチョウ亜科のグループ**

ヒメシロチョウの仲間。エゾヒメシロチョウ等。モンシロチョウよりひと回り小さなチョウではねの形も細身です。

**（2）モンキチョウ亜科のグループ**

地色が黄色で、「・・・キチョウ」と呼ばれるものが多い。

モンキチョウ、キチョウ、スジボソヤマキチョウ、ヤマキチョウ、ミヤマモンキチョウ、ウスキシロチョウ等

低地から高山帯の開けた場所に生育する。

**（3）シロチョウ亜科のグループ**

地色が白で「・・・シロチョウ」と呼ばれるものが多い。

モンシロチョウ、ツマキチョウ、ツマベニチョウ、エゾシロチョウ、スジグロシロチョウ、エゾスジグロシロチョウ等

日当りの良い耕作地、市街地周辺で生息する。

**シロチョウ科の生活サイクル**

卵：細長いラクビーボール形で、表面に細かい網目模様があります。1 個ずつ産みつけられることが多いですが、ミヤマシロチョウなどまとめて産みつける種もあります。

幼虫：いわゆる青虫形で緑色のものが多い。エゾシロチョウの仲間は毛虫状で巣の中で共同生活をする。

さなぎ：食草や近くの植物の葉裏などに糸を回し、体をしばりつけるようにして固定する。

表面はなめらかで、頭部がとがっている。

**“バタフライ"**

英語の Butterfly（チョウ）という言葉は、昔、イギリスの博物学者がこの科のヤマキチョウを Butter-Colored Fly（バター色の虫）と呼んだことに由来すると言われています。

今回は春のイメージキャラクターとして愛される一方、キャベツやダイコン畑の害虫として悪名高いモンシロチョウの仲間を紹介しました。（モンシロチョウは大昔に大陸からやってきた外来種といわれ、集団で海を渡ることが知られている。）

（猪俣昇）

# 【報告】かわごえ環境ネットの活動

## 残念な雨でしたが、実りある勉強会―8 月 26 日―

自然環境部会

コフキトンボ

ウチワヤンマ

トンボの姿を見るために、3 回目の観察会を夏の終わりに行うことにしましたが、あいにくの雨で屋外での観察会は中止して、屋内でトンボと環境について勉強しました。参加者は子ども 1 人を含めて 9 名の参加でした。

田崎愛知郎氏の司会で勉強会を行いました。2 回の観察を簡単に報告してもらい、講師の林鷹央氏から川越で見られるトンボについて見分け方やそのトンボが生息している環境について話していただきました。

5 月にヤゴの観察の後、増田純一氏が田んぼビオトープに棒を立てていただいためにコフキトンボが田んぼにやってきました。毎日カメラを持って田んぼに通った成果が写真に示されていました。田んぼで唯一繁殖するギンヤンマの羽化がカメラに納められていました。最後に「生きものの多様性の歌」（歌手：林氏）の DVD が上映され、トンボの勉強は終わりました。

参加者からの質問を受けて、農薬の影響や水面を多い尽くす蓮について質問があり、全体にトンボは減少しているが田んぼによって違いを見ること、蓮が多い池にはトンボの種類が少ないことを教えていただきました。

終わってから今年のまとめと反省を行い、次年度どのように観察を続けるのか話し合いました（写真は増田氏がみなみかぜ田んぼで撮影しました）。

（過昌司）

## 環境施設めぐり（バスツアー）

社会環境部会

葛西臨海水族園前で集合写真

9 月 5 日（土）参加者 41 名で、東京都水の科学館と葛西臨海水族園を環境学習の一環で視察してきました。子供さんたちが楽しめて見学可能日が土・日の 2 施設を厳選しましたが、小学生以下の参加は 2 名でした。

**1.東京都水の科学館**

東京の水道水の約 20%を供給している金町浄水場（葛飾区）がテレビ番組で紹介されていたので見学の手配をしたが満杯のため断念。他の東京都の施設を調査したところ、水道歴史館（文京区）、水と緑のふれあい館（奥多摩）と水の科学館（江東区）が見つかり、展示内容・立地などから「水の科学館」に決めました。

（1）3 階のアクアシアターでは、森林など陸地

に降った雨が川となり、浄水場で水道水が作られて街へ。使用済みの水道水は処理場から川を経て海へ　川・海などで蒸発して雲そして雨となる自然界の大循環を映像で紹介しています。

（2）2 階の水の実験室では、筒の後ろを叩くと穴から霧のリングが飛び出す霧の空気砲装置や真空実験装置を使った「水の真空実験」などを水の不思議を紹介しています。

また、くらしの水コーナでは、浄水場で作られた水道水が網目状の配水管を経由して各家庭の蛇口に配水されている工程を紹介しています。

（3）アクアツアーでは、地下の本稼働中の有明給水所を巡るツアーで、給水所から各家庭に配水している施設を見学、プロジェクションマッピングによる機能紹介、水漏れ音当てゲームなど、人気ツアーです。

日ごろ当たり前のように使っている水について、改めて見つめ、水との関わりやつきあい方、環境に配慮する気持ちなどを再認識しました。

**2. 車窓から**

首都高を降りて、今は開かない勝鬨橋を渡り、来年 11 月開場予定の豊洲新市場を見て、東京ゲートブリッジ（別名：恐竜橋）を渡り、夢の島公園を眺めました。

**3. 葛西臨海水族園**

1882 年（明治 15 年）に上野動物園にできた日本最初の水族館「観魚室（うをのぞき）」の流れを引き継ぐ施設で、1989 年 10 月に開園しました。建設当時は世界最大のアクリル製の巨大水槽（アクリルガラスの厚さ 26cm、高さ 7m、一周 90m、海水量 2,200t）に上野動物園から引っ越したマグロなどを展示し、1999 年には世界初のクロマグロの産卵を確認するなど順調に推移していました。しかし、昨年末からクロマグロやスマなどの原因不明の大量死が発生しました。3 月頃からアカシュモクザメ、タカサゴなどを段階的に水槽に入れて様子を見ながら、6 月 21 日には主役のクロマグロ 77 匹が衝突防止用テープを貼った水槽に放たれ、生き残った大きな 1 匹との折り合いもよく、1 匹も減ることなく現在に至っています。

見学日には衝突防止用テープがすべて剥がされスッキリしていました。マグロ大水槽の他には、世界の海、東京の海、渚の生物などの展示施設がありました。下見の経験から、入口が 3 階であること、メインイベントであるマグロの給餌時刻などをアナウンス後、昼食場所（弁当が食べられるスペースとレストラン）に案内して自由見学していただきました。水族館独特の薄暗い環境と難解な地図のため怪我や集合場所を見失わないかなどと心配したが、何のトラブルなく集合時刻前に全員集合していただきました。

今年の施設めぐりは、6 月から見学先の選定、見学先やバス会社との交渉、下見を経て実行に至りました。8 月初旬の参加者受付の結果、70 歳以上が半数を占めたことから事故などを心配したが、何事もなく終了しホッとしました。

反省点は、主な参加対象者を小学生以下としていたため、両施設共に時間を持て余されている方が多かった点です。

参加者の皆さんの笑顔とバスの中で自然と湧いた拍手にスタッフ一同は疲れが吹き飛びました。

（高橋啓二）

マグロの回遊

マグロとせいくらべ

アクアツアーの事前説明

# 【報告】会員・流域の活動

## 平成 27 年度　全国水生生物調査状況

南小畔親水クラブ

南小畔川　親水公園付近（8 月 7 日）

北小畔川　下田橋付近（8 月 10 日）

例年行っております題記の調査を下記の通り実施しました。この調査は、1 級河川のうち国土交通大臣直轄管理区間を除く河川で、私達のクラブで調査に参加して今年で 7 年目になりましたが、参加者が、年々少なくなってしまっています。

参加要請のまずさが原因と思っています。

**調査日程**

| 月日 | 調査個所 | 参加者 |
|---|---|---|
| 8 月 7 日 | 南小畔川　親水公園付近 | 6 名 |
| 8 月 10 日 | 北小畔川　下田橋付近 | 10 名 |
| 8 月 17 日 | 小畔川　御伊勢塚公園北 | 中止 |
| 8 月 21 日 | 入間川　安比奈親水公園 | 4 名 |

**各箇所の状況**

**1）南小畔川**

上記 4 か所のうちでは一番川遊びに適していますが、あまり遊ばれていません。川の中では圧倒的に多いのは小さなエビ類、魚ではタモロコ。水はきれいですが、魚・水生昆虫は少ないようでした。

**2）北小畔川**

ここは以前、ある人が畑代わりに里芋を作ったり、果樹を植えたりしていて、今でもびわ、栗、くるみ等がたわわに実っています。外来種のオオフサモも若干残っていますが、広く繁茂する様子はないようです。川虫はほとんど見つかりませんでした。

**3）小畔川**

雨天中止

**4）入間川**

ここは毎年、安比奈親水公園入口付近の智光山公園方面から流入する小河川で調査していますが、一見上から見た範囲では、魚も石に付いている虫も見えない状態でした。両岸を網ですくって小魚、カワニナ等が捕獲できましたが、全般に魚、水中昆虫等が少なくなっているような気がしました。

**備考**

川越には、川に係わる活動をしている団体が埼玉県の川の国応援団の登録団体、あるいは、未登録団体を含めると 10 数団体があるように思います。それぞれが、個別に活動しており、お互いの交流が少なく、情報不足で、連携が取られておりません。川越市の河川課、川越県土整備事務所等を含め、各団体と連携して情報交換を行えば、河川の浄化、湧水の保全、ホタルの再生等、幅広い活動につながるのではないかと思いますが、まだまだ気運が盛り上がらない現状かと思います。

（南小畔親水クラブ　原嶋昇治）

## マコモタケ収穫体験＆試食会を開催しました

かわごえ里山イニシアチブ

マコモタケの収穫体験

収穫したマコモタケ

みんなでマコモタケ調理

9 月 20 日（日）に福田の“はるみず田んぼ"で自然栽培をしているマコモタケの収穫体験及び試食会を、最近連携して活動している「みやび会」とのコラボ企画で行いました。9 月初旬に出るだろうと予測していたマコモタケが中旬にやっと顔を出し、この日のイベントを行うことができました。21 人の参加を得て、秋晴れのすがすがしい天気のもと、楽しい収穫体験と試食会になりました。

収穫体験では裸足で田んぼに入る人もいて、泥の柔らかい感触を肌で感じ、モスグリーンをした健康マコモ茶をいただきながらマコモタケの収穫に興じました。試食会では、高梨農園から美味しい新米（耕福米）の提供いただき、マコモ炊き込みご飯やおにぎり、天ぷら、ホイル焼き、サラダ、卵とじ、炒め物等々と色とりどりのものが食卓に並び、みんな初めてのマコモタケに舌鼓を打ちました。特に天ぷらやホイル焼きは人気が高かったようです。

マコモタケは、栄養価が高く、重金属や化学物質の排泄作用､血液浄化作用があると言われ、美肌効果も期待できる不思議な植物です。

また、妊娠・授乳中に特に必要な葉酸も多く含まれており、妊産婦には特に安心・安全な食材となることが期待されます。

マコモは、古くから神聖な植物として神社などの神事に使われていました。マコモ（マコモタケ)の歴史や効用については本紙の 8 月号で、栽培している谷道氏が記事で詳細を紹介しています。

この中で谷道氏は「無農薬の自然栽培は自然に負担をかけない農業であり、人を呼び込む力を持っている。マコモタケはいろいろな動植物が繁茂する生物多様性の環境で育てられる最も安全で安心できる食材」だとしています。このことは、まさしく我々かわごえ里山イニシアチブがめざしている生きもののにぎわいを取り戻す力、人を呼び込むにふさわしい植物であり、今後はマコモの栽培も応援していきます。小江戸川越のこれからの新しい生物多様性育む名産品としてマコモ（マコモタケ）を育てていきましょう。　（増田純一）

（注）マコモタケは「マコモ」という植物に付随したもので、マコモの花芽が茎の中で成長する過程で「黒穂菌」がつき､菌癭(きんえい)菌が寄生したためにできるこぶ状、または塊状になったもの（言泉）を造る。（本紙 8 月号から引用）

## 入間川魚獲り体験イベント　２題

入間川は飯能市の奥を源流とし、川越市で荒川と合流し東京湾に注いでいます。荒川と合流する手前、落合橋の下流に菅間堰があり、魚類の遡上が阻まれています。東京湾の水質が改善されて多様な魚類が復活しアユも多摩川、荒川に大量に遡上するようになりました。

菅間堰のすぐ下までアユが遡上し、それ以上のぼれなくて「溜まり場」になる状況が続いていました。これを何とかしたいと動き出した「NPO 法人荒川流域ネットワーク」が流域の市民団体や市民と協力して魚道設置を行政に働きかけました。自然遡上を阻む横断堰は寺山堰、浅

間堰、笹井堰と上流の狭山市までであり、一体的に整備される運びとなりました。2014 年の秋から菅間堰の魚道設置工事が始まりましたが、まだ改善点があり完成に至っていません。この間、指標アユの放流、調査など様々の取り組みがあり、今回報告する親子対象の魚とりイベントもその一環です。

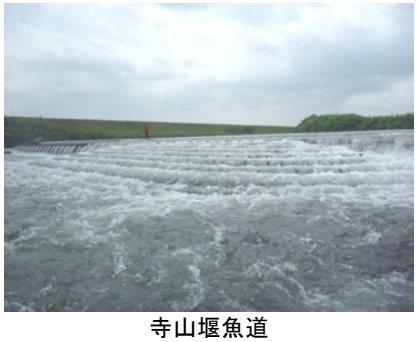
9 月 5 日（土）には入間川の寺山堰のすぐ下流で行われました。8 月後半からの異常な長雨が前日にやっと終わったところで、水量も多く流れも速く、地曳網体験はできませんでした。

それでも好天に恵まれ近隣の小学校から参加した子どもたちは嬉々として、手網でガサガサを楽しみました。大人の投網も加わって獲れた魚は水槽にいれ水族館になります。

金澤光さんが、子どもと対話しながら魚の解説をします。コクチバスが数匹獲れましたが、これはどうやら有間ダムあたりからきたらしい、食べるとうまいんだ・・・など。昨年あたりから体験を拡げる意味で採った魚をてんぷらにして食べるメニューを取り入れています。子どもたちは「おいしい！」と頭から尻尾まできれいに食べていました。日本では古来、魚は重要な食料でしたので川魚も見直したいところです。コクチバスも白身がふっくらして結構いけたようです。

次週 9 月 13 日（日）は狭山市の豊水橋下流で行われました。この前の週は台風が 2 つも来て、鬼怒川の決壊など大規模災害になりました。このあたりはそれほどではありませんでしたが、やはり水量多く流れも速かったですが、よどみの場所をさがし 20 名の親子の参加で楽しむことができました。

（賀登環）


寺山堰魚道

魚をとる

魚水族館

てんぷらにする

豊水橋のたもとで

豊水橋下の魚道

## 里山の未来を求めて—9 月 6 日　新所沢公民館でのシンポジウム

どんよりした天気の中、おおよそ 180 名が新所沢公民館に集まりました。間伐材で作ったウチワをいただき、三富農業と平地林の展示を見ながら会場へ。

今回は森林生態学を専門とする山本美穂氏（宇都宮大学農学部教授）を招いて講演会を行いました。長い年月をスパンとして考える学者の話は視点が違って興味を新たにすることができました。

世界の森林開発の歴史は、文明が進むにつれて森林が伐採され、世界中に広がりました。日本も例外ではなく、畿内から広がった森林開発

は 15 世紀には木曽、飛騨、秋田、天竜までに広がりました。16 世紀には都市近郊で育成林業が始まり、それまでの伐採一辺倒の林業が転換しました。関東では江戸時代に森林開発が進められ、18 世紀には那珂川流域まで広がった。日本では労働集約的かつ森林と水田農地の持続可能な利用して行ったために、森林開発が抑えることができました。

森林育成保護は封建時代から領主が行ってきたが、三富新田開発は、入会地の紛争を押さえて開拓地に替え、自分たちでヤマ（森林）を創ったことは森林開発の歴史から見て特筆するできごとです。また、ヤマと農地を近接させて資源循環型で持続可能な農業を確立したことは驚きです。先人達に感謝をしなくてはなりません。

最後に、時代の変化の中で、どの場所（時間と空間）に位置するかで見方が変わる森林生態学の視点で平地林を見続けてほしいと未来を語られました。切れの良い話し方とぶれない態度に好感がもてました。

（過昌司）

岩崎埼玉県副知事の挨拶

パネル討論
コーディネーター 山本美穂氏とパネリスト

## 【報告】理事会・専門委員会

### 理事会

夏休みして 2 か月ぶりの理事会が 9 月 25 日（金）10:30-12:00 に福田ビル 3 階会議室で開催されました。秋はイベントの季節です。夏の活動の報告を受けて、部会での事業の取組の報告を受けた後、これから行われる事業について協議しました。

○10 月 4 日（日）には「2015 アースデイ・イン・川越　立門前」が行われますが、正式な文章が提出されましたので、理事会で後援を決定しました。今年はより多くの団体の参加が申し込まれています。また、11 月 14 日（土）に行われる「北公民館かんきょう祭」の後援も決定しました。

○2 月 20 日（土）に行われる「第 14 回かわごえ環境フォーラム」のテーマは“川越を知ろう・語ろう・伝えよう”で、ウェスタ川越の市民活動交流センターと南公民館で行われます。また、環境活動報告集への投稿、発表者の募集要項を決定しました。

○川越市環境行動計画「かわごえアジェンダ 21」について、次年度検討して、来年 2016 年 8 月までに環境ネットで検討した素案を提出することになりました。

○11 月 28 日（土）に行われる「環境講演会・パネルデスカッション」の具体的な内容が決まり報告されました。早稲田大学の小野田弘士准教授の講演の後、3 人のパネリストが参加者とともに川越の未来を考えます。（副理事長　過）

## 事業運営委員会

9 月 25 日（金）9:00-10:30 に第 4 回事業運営委員会が開催されました。出席者は事務局を含め 7 名でした。

**かわごえ環境フォーラムについて**

・市役所の会議室が確保できないので、ウェスタ川越を確保した。午前は 2 階市民活動・生涯学習施設「活動室 1」、午後 1 階南公民館「講座室 1,2」となる。

・通常のポスター展示は対応が難しいため実施しないが､協賛団体のポスター展示は実施する。

・協賛依頼原稿は会場と行事内容がわかれば確定できる。横山副理事長・菊地理事で順次企業訪問する。

・午後のワールドカフェのテーマを『2015「川越を知ろう・学ぼう・語り合おう」→2016「川越を知ろう・語ろう・伝えよう」→2017「川越を語ろう・伝えよう・行動しよう」』→2018「川越を伝えよう・行動しよう・仲間を増やそう」などとして、前回からの発展形とする。前回の話し合った様子の背景や結果の概要を伝える。

・テーマ設定における課題の抽出：1.観光客→環境（自動車、ごみ、トイレ）---情報が少ない、通過客を降ろす手段が必要、2.観光に困ったこと（自分が行って困ったこと）：くつろぎポイント（避暑）、郊外の場合（まずトイレ）、3.入込数に対応できる環境対策（施設を作る際のアセスメント）

・講師の選定は次回の委員会で行う。委員各自がテーマに沿った講師を探す。

**水辺と川の小委員会**

・9/18 新河岸川流域川づくり連絡会は、市民団体・行政の川の再生の話し合いの場となった。1.水循環基本法の施行から 1 年となり、流域水循環協議会を組織化する。2.川でつながる発表会を 12/13 に狭山市入曽公民館で開催する。

**その他後援・出展事業**

・2015 アースデイ・イン・川越 立門前：本会は旧鶴川座でパネル展示、アジェンダチェックシート、エコドライブシミュレーターの実施。9/30 会議、10/2 搬入、10/4 実施

・北公民館かんきょう祭り（11/14）：本会は玄関先ロビーにおいてパネル展示、渡辺さんがサクラソウ無料頒布（部会補助）、環境講演会は行政が講演する。　　（委員長　小瀬博之）

## 社会環境部会

9 月の例会は 11 日（金）福田ビル 3 階にて、11 名参加で行いました。

**1.報告事項**

**1）理事会**

8 月は、理事会が休会であったので、別途、第三次川越市環境基本計画・川越市緑の基本計画の原案が策定されましたので、本会としても活動の基本になるので、勉強会を設定したいと考えている旨、報告しました。（原嶋）

**2）環境施設めぐりの報告**

参加者状況・実施状況・決算見通し等報告があり、部会負担が予算を下回りました。また、バス会社の選定には一考を要すとの報告がありました（高橋さん）

**2.事業計画**

**1）環境講演会・パネルディスカッション**

11 月 28 日（土）ウェスタ川越で実施。演題は、「環境みらい都市について」。横断幕は作成しない、チラシは 500 枚カラーで作る等の結論を出しました。部会としては、一大イベントなので積極的に取り組み、次回までに具体案を策定し、10 月の部会でまとめることとしました。

**2）2015 アースデイ・イン・川越　立門前**

**10 月 4 日（日）**

エコドライブの普及啓発を、シミュレーターを用いて環境政策課と協働で実施します。設営には、できる範囲で協力することで、参加メンバーを確定しました。

**3）環境政策課委託事業「エコツアー」**

10 月 21 日（水）に南小畔親水クラブ主催で実施。部会事業ではないが、学ぶことも多いので、参加を依頼しました。

**4）北公民館かんきょう祭り**

パネル展示等を実施し、極力参加して、盛り上げに協力することにしました。

（社会環境部会　担当　原嶋昇治）

## 自然環境部会

9 月例会は 11 日（金）福田ビル 3 階にて 8 名の参加で開催された

**1.活動報告**

①「(仮称) 川越市森林公園」計画地定例調査・保全活動　7/13(月)17 名参加　イチヤクソウ、トンボソウ調査、　7/27（月）　15 名参加　第 2 武蔵野ふれあいの森保全作業

②仙波河岸史跡公園植物調査　7/15（水）　6 名参加　湿地池にウォーターマッシュルーム（外来種）が繁茂していた

③7/17（金）　県民参加モニタリング調査中間報告会　埼玉会館 1 名参加

④「虫の観察会」7/26（日）「(仮称) 川越市森林公園」計画地にて 20 名参加　本紙 9 月号掲載済

⑤エコプロダクツ川越2015　2部屋で10テーマ展開

⑥8/26（水）　トンボ学習会　「みなみかぜ交流センター」にて 6 名参加

**2.協議事項**

①第 3 次環境基本計画へのパブリックコメントについて…検討して部会として提出する

②自然環境部会の予算執行状況について

③江遠島緑地イベント 11/8（日）（環境政策課主催）への協力について…スタッフとして 4 名参加予定

（自然環境部会代表　賀登）

## かわごえアジェンダ 21 推進委員会

第 6 回の新かわごえアジェンダ 21 検討会を 9 月 24 日（木）17:00-19:00 に東洋大学川越キャンパス福利厚生棟第 5 会議室で開催しました。出席者は事務局も含め 4 名でした。

1.川越市環境行動計画「かわごえアジェンダ 21」の改定の進め方について事務局からたたき台が示され、内容を修正の上、翌日の理事会で審議することになりました。

2.チェックシートについて

・「事業者編」は廃止し、世代別（おとな編、子ども編）のチェックシートを作成することを検討する。

・個人（家庭、家計）の行動と、公共空間における行動を区分する。

・具体例ごとにチェック欄を設けて評価させることを検討する。

・電子化を検討する。

・現在の 120 の行動提案とチェックシートとの統合についても検討課題とする。

・1～10 の項目について具体的な内容を検討した。

詳しい審議結果については、Wiki（http://wiki.kawagoekankyo.net/）の「新かわごえアジェンダ 21 検討会第 6 回（20150924）」をご覧ください。

（委員長　小瀬博之）

# 【予告】かわごえ環境ネットの主催・出展・関連行事

## 【トピック①】「第 14 回かわごえ環境フォーラム」環境活動報告の投稿・発表者募集

来年 2 月 20 日（土）9:30-12:00, 13:30-17:00 に「第 14 回かわごえ環境フォーラム」を開催します（会場はウェスタ川越）。

各々の環境活動と役割を相互に理解し、川越市の望ましい環境像実現のための取組がいっそう活発になることを期待して行事を開催します。

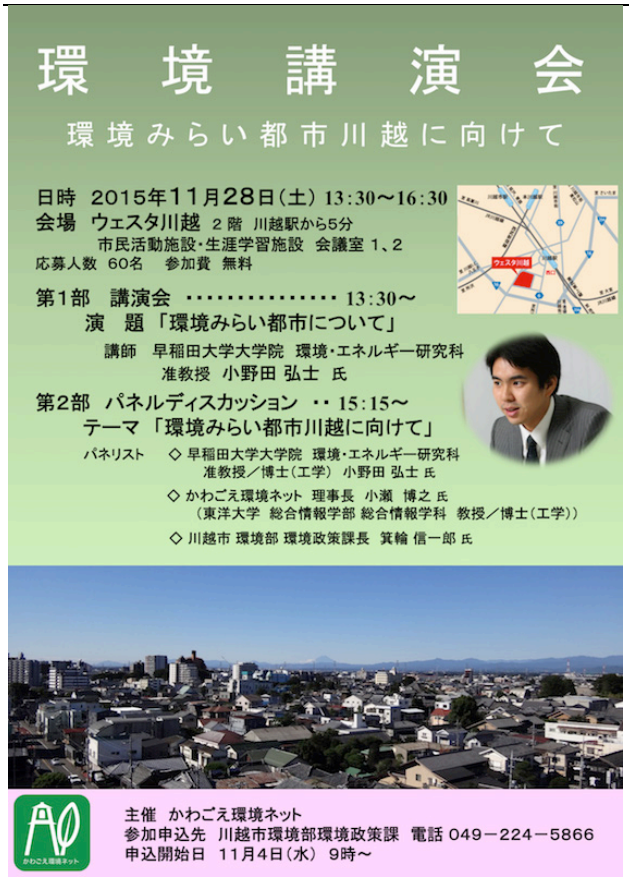
開催にあたって、環境活動をされている個人･団体からの環境活動報告を広く募集します。みなさまの積極的な応募をお待ちしています。

投稿・発表申込期限は 11 月 20 日（金）、レポート投稿期限は 12 月 18 日（金）です。

募集要項は､会員のみなさまには 10 月号に同封します。かわごえ環境フォーラムホームページ（http://forum.kawagoekankyo.net）にも掲載しておりますのでご覧ください。

## 【トピック②】環境講演会「（仮題）環境みらい都市について」11 月 28 日（土）開催

**社会環境部会**




社会環境部会は、11 月 28 日（土）に環境講演会を開催いたします。今年は「環境みらい都市について」のテーマで、講演とパネルディスカッションを行います。川越の未来について考えるよい機会であります。多くの方の参加をお待ちしております。なお、広報川越（10 月 25 日号）に掲載し告知いたします。

開催日：11 月 28 日（土）13：30-16：30
会場：ウェスタ川越 2 階 1、2 会議室
応募人数：60 人（参加費無料）
申込開始：11 月 4 日（水）9：00 より
申込先：川越市環境政策課
電話：049-224-5866

**第 1 部　講演会　13:30-**

演題：「環境みらい都市について」
講師：早稲田大学大学院 環境・エネルギー研究科　小野田弘士准教授/博士（工学）

**第 2 部　パネルディスカッション　15:15-**

テーマ「環境みらい都市 川越に向けて」
コーディネーター
　かわごえ環境ネット　宮崎　誠 氏
パネリスト
　早稲田大学大学院　准教授/博士（工学）
　　小野田 弘士 氏
　かわごえ環境ネット理事長
　東洋大学　教授／博士（工学）
　　小瀬 博之 氏
　川越市環境部環境政策課長
　　箕輪 信一郎 氏

## 【トピック③】「省エネ情報交換」の催し（10 月 15 日・11 月 19 日・12 月 17 日）

「光熱費を減らしたい人情報交換しませんか」との内容で情報交換を行います。コーディネーターは、かわごえ環境ネット会員の松岡壽賀子さんです。

開催日：10 月 15 日、11 月 19 日、12 月 17 日
会場：高階南公民館コミュニティースペース
時間：15:00 から 16:30 の間にお越しください。
参加費：無料
内容：より健康にエコ生活を変えた数々の体験を持ち、各種の賞を得ている松岡壽賀子さんを囲んで省エネ生活の意見を交換し、実践について考えます。省エネの知恵を持つ方の参加を歓迎します。
お問い合わせ：高階南公民館　（Tel.049-245-3581）

## 【トピック④】川越市協働委託事業『かわごえエコツアー』10 月 21 日開催

このたび、南小畔親水クラブ（代表　原嶋昇治）主催で環境政策課の協働委託事業「かわごえエコツアー」を実施します。川越市内の環境設備がどうなっているか、市内に住んでいても意外と知らないことが多く、つぶさに視察し現状を把握、知識を深めたいと思います。

行先：資源化センター、霞ヶ関第二浄水場、新河岸川上流水環境センター、農業ふれあいセンター、その他
日時：10 月 21 日（水）雨天決行
集合：8 時 20 分
定員：28 名
参加費：無料（弁当持参願います）
集合場所：ウェスタ川越　交流広場
申し込み：10 月 1 日（木）10 時より
環境政策課（Tel.049-224-5866）

## 【トピック⑤】古谷湿地さかな観察会（11 月 8 日開催）　川越市環境政策課

11 月 8 日（日）9:30～15:00、江遠島緑地（古谷上）内の麦生川において、ペットボトルのわなを仕掛け、捕まえた魚を観察します。(小学校 4～6 年生の親子 15 組を対象、参加費無料)

申し込みは、10 月 1 日（木）9 時から電話（環境政策課 049-224-5866）にて受付けています（※先着順）。

当日は、野外活動が行える服装（長袖、長ズボンなど）、持ち物は空のペットボトル（2 リットル）2 個程度、カッター、ビニール袋、飲み物、昼食、タオル、長靴をご持参の上ご来場下さい。なお、前日までもしくは当日が雨天等の荒天の場合は、川の増水等が考えられますので中止とさせて頂きます。

## 【トピック⑥】平成 27 年度苗木配布事業　川越市環境政策課

11 月 7 日（土）11:00 から、川越運動公園（平成 27 年度かわごえ産業フェスタ会場内）において、苗木無料配布を実施いたします。

この事業は、市民の緑化意識の向上と緑化の推進を図ることを目的として 1983（昭和 58）年より継続して行っており、これまでに配布した苗木は約 7 万 2 千本となっております。

当日は、ヤマブキ・ウバメガシ・イチジクなど 500 本の苗木を無料で先着順に配布する予定です。

※イチジク等果樹についてはご家族につき 1 本の配布となります。

## 【トピック⑦】第 15 回を迎える北公民館かんきょう祭り　11 月 14 日（土）開催

11 月 14 日（土）9:00-15:30、北公民館でかんきょう祭りを開催します。2001 年に開始しまし

たが､みなさまのご協力で 15 回目を迎えることができました。

今年のテーマは｢変えよう　私たちの生活(くらし)｣ですが、発足時のアピールにも「21 世紀は､“環境の世紀”です。地球環境問題解決のために、私たち一人ひとりが考え方や生活態度を変えていこうではありませんか｣とあります。現在にもそのまま適用できる内容ですが、環境問題は永遠の課題といえるのではないでしょうか。

今年は講演会や展示にも川越市の取組を中心に取り上げ、これからの身近な環境問題を考えていこうと思います。みなさまのご参加をお待ちしております。　（実行委員長　菅野仲夫）

## 会合

**●社会環境部会（2015 年 10 月度）**

日時：10 月 9 日（金）13:00-15:00

**●自然環境部会（2015 年 10 月度）**

日時：10 月 9 日（金）15:00-17:00

場所：福田ビル 3 階会議室（川越市郭町 1-2-3）

＊両部会は、毎月第 2 金曜日の 13:00-15:00, 15:00-17:00 の連続開催

＊次回は 11 月 13 日（金）同時間、同所

＊会員ならばどなたでも参加できます

**◆広報委員会（2015 年 10 月度）**

日時：10 月 15 日（木）9:00-10:00

場所：川越市役所 5 階フリースペース（川越市元町 1-3-1）

＊次回は 11 月 16 日（月）同時間、同所

**●新かわごえアジェンダ 21 検討会（第 7 回）**

日時：10 月 29 日（木）17:00-19:00

場所：東洋大学川越キャンパス和室（福利厚生棟第 5 会議室手前階段下る）(川越市鯨井 2100)

＊会員であればどなたでも参加できます

＊次回は 11 月 26 日（木）同時間、同所

**◆事業運営委員会（2015 年度第 5 回）**

日時：10 月 23 日（金）9:00-10:30

場所：福田ビル 3 階会議室

＊次回は 11 月 27 日（金）13:00-14:30 同所

**◆理事会（2015 年度第 6 回）**

日時：10 月 23 日（金）10:30-12:00

場所：福田ビル 3 階会議室

＊次回は 11 月 27 日（金）14:30-16:00 同所

## 自然環境部会主催事業

**★池辺公園定例活動（毎月第 1 火曜日）**

日時：11 月 2 日（月）・12 月 1 日（火）9:00-12:00

場所：池辺公園（川越市池辺 1302）

問い合わせ：菅野

**★（仮称）川越市森林公園計画地 植物調査・保全作業（毎月第 2・第 4 月曜日）**

日時：　10 月 12・26 日・11 月 9・23 日（月）9:30-12:30

集合：9:30 川越南文化会館（ジョイフル）（川越市今福 1295-2）

問い合わせ：賀登（049-234-9366）

## 【予告】会員・関係団体の主催・関連行事

**NPO 法人武蔵丘陵森林公園の自然を考える会**

問い合わせ：谷津弘子（Tel.&Fax.049-224-9118, foresth@nifty.com）

**◎森林公園かんさつ会**

**①10 月 25 日（日）公園主催、考える会協力**

要項：公園南口から入園（入園後受付）10:20 集合、15:30 ごろ終了解散、入園料要、参加費無料、お弁当持参（レストランもあります)。雨天決行。

センブリの花や昆虫を観察します。チョウやクモ類も探します。

**②11 月 11 日（水）・③11 月 29 日（日）考える会主催**

要項：国営武蔵丘陵森林公園南口休憩所（入園前受付）10:20 集合、15:30 ごろ終了解散、入園料要、参加費 200 円、お弁当持参（レストランもあります）。雨天決行。

11 月は、紅葉と木の実そして冬越しに訪れた野鳥を観察します。今回は、カエデ園まで歩きませんか。みなさまのご参加をお待ちしております。

## 福原ファームクラブ

問い合わせ：横山三枝子（Tel.049-246-9319）

**◎おいしく・楽しく農業体験**

**①10 月 10 日（土）9:30-12:30 ごろ**

**②11 月 14 日（土）9:30-12:30 ごろ**

場所：明見院（今福 677）近く

内容：農作業（B 級品のお土産付き）

会費：保険代 100 円、クラブ員 1 家族 1,000 円（年間）

2015 年度予定表

| 月 | 日 | 活動内容予定 |
|---|---|---|
| 10 | 10 | 大根畑の片付け・ビニールはがし |
| 11 | 14 | 里芋の収穫・芋煮会（お椀、箸持参） |
| 12 | 12 | 大根収穫他 |
| 1 | 9 | 雑木林の手入れ |
| 2 | 13 | 雑木林の手入れ 焼き芋 |
| 3 | 12 | 雑木林の手入れ　遊ぼうパン・スープ |

## クリーン&ハートフル川越

問い合わせ：渡辺利衛（Tel&Fax.049-242-4322）前日まで菊地三生（Tel.080-5546-2362）

**◎「やめましょう！歩きタバコ・ポイ捨て・自転車放置」のゼッケンや「かわごえ環境ネット」の腕章をつけて、まち美化啓発運動**

**①第 1 火曜日・第 3 木曜日**

日時：10 月 15 日（木）

11 月 3 日（火）・19 日（木）13:30-15:00

川越駅東口アトレ横歩道橋下から川越市役所まで。

**②第 2 日曜日**

日時：10 月 11 日・11 月 8 日（日）9:30-11:00

本川越駅交番横から各方面に分かれて活動、中央公民館でごみまとめ。

**③第 4 土曜日**

日時：10 月 24 日（土）・11 月 28 日（土）

13:30-15:00

川越駅東口アトレ横歩道橋下から本川越駅まで。ペペ地下のごみ収集所で分別、解散。

**◎川の国応援団・新河岸川市内流域の清掃**

原則として第 4 日曜日 9 時より 2 時間。参加できる人は、担当箇所分担の割り振りのため、実施日の 3 日前までに渡辺（049-242-4322）へご連絡ください。

**①10 月 25 日（日）9:00~11:00**

□中流部の杉下橋横集合。貝塚橋まで両岸の土手や歩道清掃。オアシス裏にごみ集め解散。

**②11 月 22 日（日）9:00-11:00**

□新河岸川広域景観づくり連絡会との協同作業で、下流地点の旭橋右岸集合、上流、下流に分かれて河岸清掃、指定場所にごみ集め解散。

**◎「川越まつり　会場クリーン活動」**

10 月 17 日（土）・18 日（日）に開催される「川越まつり」で、札の辻から川越駅までの山車の通る会場を 5 つに分けて、11 時から 21 時まで、2 時間単位で「小江戸川越ボランティア」の赤い法被を着て、例年どおりの清掃ボランティア活動を行います。特に、17 時以降は、雑踏でごみ拾いはできませんので「ごみ袋を持っての辻立ち」をしますので、多数の方の参加をお願いします。道具等は、いつもの本川越交差点近くの、市の案内所裏にテントの「クリーンボランティア」が置かれます。担当の武田（090-2521-5770）までご連絡下さい。

## みなみかぜ いきいき田んぼの会（川越生物多様性有機農法で地域づくりに取り組む会）

問い合わせ：社会福祉法人健友会 地域交流センターみなみかぜ 担当：佐藤（Tel.049-234-8500[9:00-17:00], Fax.049-239-5646, E-mail: tanbo373@yahoo.co.jp, 350-0807 埼玉県川越市吉田 204-2）

いつからでも、誰でも参加でき、活動の一回体験も可です。体験だけでもしてみませんか、楽しいことうけあいですよ♪　田んぼ活動でいきいきしたいあなたを求めています！

**◎農作業日**

日時：10 月 16 日（金）・23 日（金）・30 日（金）毎週金曜日　10:00-12:00

「地域交流センターみなみかぜ」に集合、農作業は近隣の田んぼです。

**◎月例会**

日時：10 月 9 日（金）10:00-12:00

場所：地域交流センターみなみかぜ

## かわごえ里山イニシアチブ

問い合わせ：増田純一（E-mail: kawagoesatoyama@gmail.com, Tel./Fax.049-234-5269）

「かわごえ里山イニシアチブ」では、生物多様性育む田んぼの保全を目的に、みんなで連携して無農薬による米作りを支援し、生きもののにぎわいを取り戻す活動を行っています。

**◎月例会**

日時：10 月 24 日（土）16:00-18:00

場所：伊勢原公民館（川越市伊勢原町 5-1-1）

毎月第4週土曜日の16時から例会を開催しています。広く意見を求めるために会員・非会員を問わずどなたでも参加可能です。日程が変更になる場合もありますのでお問い合わせください。

## 東洋大学小瀬研究室（こもれびの森・里山支援隊、笠幡水田再生プロジェクト、ライトアッププロジェクト）

問い合わせ：小瀬博之（E-mail: hkose@toyo.jp, Tel./Fax.049-239-1532）

**◎東洋大学大学祭「こもれび祭」出店・出展**

日時：11 月 2 日（月）・3 日（火・祝）10:00-18:00 ごろ

場所：東洋大学川越キャンパス

笠幡水田再生プロジェクトで収穫したお米・焼きおにぎりの販売とこもれびの森・里山支援隊の里山体験ツアー・木工教室を開催しています。詳しくは会場で。

**◎小江戸川越ライトアップ**

日時：11 月 21 日（土）・22 日（日）

場所：川越一番街商店街（歩行者天国）

今年も出展します。

**◎こもれびの森・里山支援隊 森林整備施業**

**①森林整備施業**

日時：10 月 11 日（日）9:30-12:00, 12:45-15:00

**②森林環境教育「植物相調査（秋期）」**

日時：10 月 21 日（水）9:00-12:00, 13:00-16:00（午後は実施しない可能性あり）

**③森林施業と薪割り体験会**

日時：10 月 24 日（土）9:30-12:00, 12:45-15:00

集合場所（いずれも）：東洋大学川越キャンパス 4 号館こもれびの道側入口付近

＊詳細：こもれびの森・里山支援隊（http://ameblo.jp/komorebi-satoyama/）

＊中止等案内（https://twitter.com/toyokomorebi/）

**小畔川の自然を考える会**

問い合わせ・申し込み：賀登環（Tel. 049-234-9366）

**◎小畔川源流域（宮沢湖の近く）の魚類調査**

日時：10 月 18 日（日）9:00-11:00

網、ウェダーなどは貸し出しします。お気軽に親子でも参加ください。

**公益財団法人 埼玉県生態系保護協会 川越・坂戸・鶴ヶ島支部**

問い合わせ：笠原啓一（Tel.049-222-0957）、当日の携帯電話連絡（Tel.080-6584-3010）

**◎伊佐沼でバードウォッチング（毎月第２日曜日）**

集合：伊佐沼西岸蓮見橋 10:00、解散は集合場所で 12:00 ごろ。持ち物：筆記用具、あれば野鳥図鑑・双眼鏡・飲み物・日除け帽子。参加費：300 円、高校生以下 100 円（保険料・資料代）

**①10 月 11 日（日）10:00-12:00（小雨決行）**

渡りの途中に羽を休めるサギの仲間、シギやチドリの仲間が無事に越冬地に着くように見送ります。そして、北国からもカモを歓迎します。

**②11 月 8 日（日）10：00-12：00（小雨決行）**

伊佐沼で越冬するカモたちが揃うころです。まだ雄の羽の色がきれいな繁殖羽に変わっていないので見分けが難しい時期です。よく観察して特徴を覚えて見分けができるようになりましょう。

## 広報委員会からのおしらせ

**●入会のおすすめ**

川越市の環境を知り、活動するためにぜひご入会ください。会員になると、本紙「月刊かわごえ環境ネット」を毎月お送りします。年会費は個人会員 1,000 円、団体会員 2,000 円です。詳細は、かわごえ環境ネット事務局（環境政策課 環境推進担当、Tel.049-224-5866）に問い合わせるか、Web ページ（http://kawagoekankyo.net）をご覧ください。

**●本紙への原稿投稿を受けつけています**

2015 年 11 月号（No.109，10 月末日発行予定）の掲載原稿は、10 月 15 日（木）必着です。電子データでいただけるととても助かります。原稿と写真は編集担当共有のメールアドレス（koho@kawagoekankyo.net）にお送りください。メールを使用していない方は、かわごえ環境ネット事務局（環境政策課、川越市役所本庁舎 5 階）に提出してください。

**●入稿に際してのお願い**

発行が遅れていながらのお願いになりますが、編集をより効率的に進められるよう、入稿の際に次の事項にご協力いただければ幸いです。

**①所定のテンプレートに入力を**

Word 形式のテンプレートを用意しています。そちらを使っていただけると効率的に編集ができます。不明な点はお問い合わせください。

**②文字の入力方法を統一的に**

英数字はすべて半角で入力をお願いします。「()」「:」は原則として全角を用いていますが、時刻表示の「:」は半角を用いています。

**③図表や写真にはタイトルをつけて**

読者が状況を把握するのに役立ちます。

**④画像は添付ファイルで提出を**

長辺を「800 ピクセル」程度に大きさを小さくした上で、ファイルを別途添付して提出してください。Word に貼り付けなくてもキャプション（タイトル）がわかるようにしていただければレイアウトします。また、Word 上でサイズを縮小させてしまうと、印刷に使えないようなサイズになってしまい対応に苦慮します。

**⑤原稿の入稿期限（毎月 15 日）にご協力を**

原稿が揃わないと効率よく作業できません。月末発行を行うため、ご協力ください。

## ●インターネットでの情報発信

かわごえ環境ネットホームページ

かわごえ環境ネット Facebook ページ
（Facebook に登録しなくても見られます）

### 1.本紙がカラーで見られます

本会ホームページでは、バックナンバーを含めてカラーで本紙 PDF ファイルが見られます。スマートフォンにも最適化されています。ご覧ください。（http://kawagoekankyo.net/news）

### 2.Twitter でかわごえ環境ネットをフォロー

かわごえ環境ネット Twitter（@kawagoekankyo）は、ブログの更新と連動してツイートします。Twitter にユーザー登録してぜひフォローしてください。https://twitter.com/kawagoekankyo

### 3.Facebook ページ「いいね！」してください

かわごえ環境ネットは、インターネットでも積極的に情報発信しています。ブログ、Twitter に続き、Facebook にもページがあります。かわごえ環境ネットからのお知らせだけでなく、メンバー間での情報共有にも活用できます。まずは Facebook に登録していなくてもご覧いただけますが、ぜひアカウント登録を。

https://www.facebook.com/kawagoekankyonet

## ●おわび

本紙 9 月号の巻頭言の筆者である過昌司さんの肩書きを間違えていました。正しくは「副理事長」です。

本紙 9 月号の【コラム】私のエコ暮らし（14）の表題が間違えていました。正しくは「環境省の 3R 活動からみた私のエコライフ」です。失礼いたしました。

なお、Web 上の PDF 版は修正済みです。

http://kawagoekankyo.net/news/002984.html

**●おことわり**　本紙の記事は、各著者の寄稿及び広報委員会の編集によって構成されていますが、これらは、組織の公式な見解を示すものではありません。また、本紙は寄稿及び作成時点までの信頼できる各種情報に基づいて作成し、正確性の確保に努めていますが、その正確性に対してかわごえ環境ネットは責任を負いません。本紙は読者ご自身の判断と責任で利用いただき、本紙を利用することで生じたいかなるトラブルおよび損失、損害に対して、かわごえ環境ネットは一切責任を負いません。

## イベントカレンダー（10 月 8 日～11 月 21 日）

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ★：会員内外対象の公開・出展・後援イベント<br>●：会員全員が対象の総会・部会・イベント<br>◆：理事・委員等が対象の理事会・委員会<br>◎：会員主催のイベント等<br>〇：その他　詳細は個別の記事をご覧ください | | | | 10/8<br>★10:00 チョウの観察会 | 10/9<br>◎10:00 月例会（みなみかぜ）<br>●13:00 社会環境部会<br>●15:00 自然環境部会 | 10/10<br>◎9:30 おいしく楽しく農業体験 |
| 10/11<br>◎9:30 森林施業（こもれびの森・里山支援隊）<br>◎9:30 まち美化啓発運動<br>◎10:00 伊佐沼でバードウォッチング | 10/12<br>★9:30（仮称）川越市森林公園計画地調査・保全作業 | 10/13 | 10/14 | 10/15<br>◆9:00 広報委員会<br>◎13:30 まち美化啓発運動<br>◎15:00 省エネ情報交換<br>〇本紙 11 月号投稿期限 | 10/16<br>◎10:00 農作業（みなみかぜ） | 10/17 |
| 10/18<br>◎9:00 小畔川源流域魚類調査 | 10/19 | 10/20 | 10/21<br>◎8:20 かわごえエコツアー<br>◎9:00 植物相調査（こもれびの森・里山支援隊） | 10/22 | 10/23<br>◎10:00 農作業（みなみかぜ）<br>◆9:00 事業運営委員会<br>◆10:30 理事会 | 10/24<br>◎9:30 森林施業（こもれびの森・里山支援隊）<br>◎13:30 まち美化啓発運動<br>◎16:00 月例会（かわごえ里山イニシアチブ） |
| 10/25<br>◎9:00 新河岸川市内流域清掃<br>◎10:20 武蔵丘陵森林公園かんさつ会 | 10/26<br>★9:30（仮称）川越市森林公園計画地調査・保全作業 | 10/27 | 10/28 | 10/29<br>●17:00 新アジェンダ検討会 | 10/30<br>◎10:00 農作業（みなみかぜ） | 10/31 |
| 11/1 | 11/2<br>★9:00 池辺公園定例活動<br>◎10:00 東洋大学こもれび祭 | 11/3<br>文化の日<br>◎10:00 東洋大学こもれび祭<br>◎13:30 まち美化啓発運動 | 11/4 | 11/5 | 11/6 | 11/7<br>◎11:00 苗木配布事業 |
| 11/8<br>◎9:30 古谷湿地さかな観察会<br>◎9:30 まち美化啓発運動<br>◎10:00 伊佐沼でバードウォッチング | 11/9<br>★9:30（仮称）川越市森林公園計画地調査・保全作業 | 11/10 | 11/11<br>◎10:20 武蔵丘陵森林公園かんさつ会 | 11/12 | 11/13<br>●13:00 社会環境部会<br>●15:00 自然環境部会 | 11/14<br>◎9:00 北公民館かんきょう祭り<br>◎9:30 おいしく楽しく農業体験 |
| 11/15<br>〇本紙 12 月号投稿期限 | 11/16<br>◆9:00 広報委員会 | 11/17 | 11/18 | 11/19<br>◎13:30 まち美化啓発運動<br>◎15:00 省エネ情報交換 | 11/20<br>〇環境活動報告投稿・発表申込期限 | 11/21<br>◎小江戸川越ライトアップ |

月刊 かわごえ環境ネット 2015 年 10 月号 No.108

発行日　2015 年 10 月 8 日　編集・発行　かわごえ環境ネット 広報委員会
事務局　〒350-8601 埼玉県川越市元町 1-3-1 川越市環境部環境政策課
Tel. 049-224-5866（直通）　Fax.049-225-9800　E-mail: kankyoseisaku@city.kawagoe.saitama.jp
かわごえ環境ネットホームページ　http://kawagoekankyo.net/